

農山漁村地域整備計画評価調書

◆計画の概要

計画の名称	青森の“強い畜産業創造プロジェクト”推進計画（3rdステージ）
計画策定主体	青森県
対象市町村	むつ市、つがる市、東通村、田子町、六ヶ所村
計画期間	令和2年度～令和6年度（5年間）
計画の目標	肉用牛及び乳用牛の主産地形成を図るため、未利用地及び低位利用地の草地開発整備により、自給飼料生産基盤の強化を図るとともに牛舎等の整備を進める。
評価指標	指標の内容
	（農地整備） ①公共牧場の預託受け入れ可能頭数の増加（991頭→1,352頭） ②整備対象地区における飼料作物の生産量の増加（10,780t→17,450t） ③自給飼料生産基盤及び利用施設の再編整備を行うこととし、2地区において計画策定
対象事業	草地畜産基盤整備事業 4地区
全体事業費	1,333,480千円

◆評価

項目	評価細目	評価	説明
目標の妥当性	1 関連する計画との整合が図られているか。	○	本計画は、「農業経営基盤強化促進法」に関する基本的な構想及び「酪農及び肉用牛生産の振興に関する法律」に係る市町村計画との整合をとった畜産活性化計画に基づき作成されている。
	2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「食料の安定供給の確保」を柱に施策を展開することによって、地域の課題である飼料基盤の確保・充実が図られることから、目標に適切に対応している。
	3 対象事業の事業内容が目標と指標に密接に関連しているか。	○	対象事業は、担い手等の経営体を育成するため、地域内の土地資源を飼料生産基盤として活用するなど、足腰の強い経営構造の確立を趣旨としており、目標・指標に密接に関連している。
整備計画の効果・効率性	1 事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	各指標は、関連事業完了時あるいは年度の事業実績により、その内容を確認できることから適切な指標となっている。
	2 対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	各指標は、それぞれの関連事業を実施することによってもたらされる主要な効果を反映しており、適切なものとなっている。
整備計画の実現可能性	1 円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	事業内容や費用負担などについて、関係市町村、農家、地域住民等との合意形成が図られていることから、円滑な事業執行の環境が整っている。
	2 地元の機運が醸成されているか。	○	地元農家や関係団体からなる事業推進協議会等が設立され、事業の早期完成の要望が強いことなど、地元の機運は醸成されている。
	3 対象事業のうち新規着工地区について、事前に実施要件の確認がなされているか。	○	事業計画策定にあたり東北農政局との打合せを行い、実施要件の確認がなされている。

◆評価結果

評価1	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2	計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。